

令和8年第3回士幌町議会定例会

教育行政報告

令和8年9月4日

士幌町教育委員会

令和8年第3回定例会の開会にあたり、教育行政報告を申し上げます。

■教育委員と学校の情報共有について

6月16日・18日の2日間で、認定こども園を含む全ての町立学校に教育委員が訪問し、学校長から今年度の学校経営計画の説明を受けた後、授業参観を実施するなど、情報共有が図られました。

■全国学力・学習状況調査について

4月23日に実施した今年度の全国学力・学習状況調査の結果が7月下旬に教育委員会と各小・中学校に送付されました。

現在、町内児童生徒の結果について、分析を進めておりますが、この後は分析結果に考察を加え、学校改善支援プランとして町広報紙で本町児童生徒の学力と今後の課題についてお知らせすることにしております。

■全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

町内全小・中学校が参加している全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、1学期のうちに各学校で調査が行われ、実施の報告がされました。

結果は、今後道教委から公表されることになり、町内児童生徒の結果については学力等調査と同様、町広報紙でお知らせすることにしております。

なお、小学校では、土幌小学校に町費で配置している、体育専科教諭が中心となり、効率的に調査実施が行われました。また、同専科教諭が中土幌・上居辺小学校の調査実施にも関わり、小小連携の充実が図られました。

■小学校行事について

次に、各学校で実施された運動会についてであります。6月6日に3校全校で実施され、この日のために練習を重ね一生懸命に取り組んだ経験は、児童の良い思い出になったことと思います。また、児童が楽しみにしていた遠足ですが、中士幌小学校は6月19日に低・中・高学年に分かれ、緑ヶ丘公園、居辺川、機関庫の川公園へそれぞれ遠足を実施、士幌小学校は6月25日・26日の2日間に分けて、低学年が中央公園、遊水公園、3年生・6年生が足寄町里見が丘公園、4年生が帯広グリーンパーク、5年生が幕別町いなほ公園へそれぞれ遠足を実施、上居辺小学校は7月1日に十勝エコロジーパークへ各校予定どおりの日程で実施しました。一部の日程では雨予報もあり心配な面もありましたが、楽しい時間を過ごすことができましたようです。

7月25日から8月19日までの夏季休業期間は、大きな事故もなく2学期を向かえることができた各学校から報告を受けております。

■都市交流事業について

次に、都市交流事業について報告いたします。

士幌小学校及び中士幌小学校の児童交流事業としての美濃市・士幌町フレンドシップ交流事業は、「受入」、「訪問」それぞれを実施しました。受入事業では、美濃市の6年生児童31名が7月28日・29日の2日間、士幌町を訪れ、北海道十勝の豊かな自然に触れ、士幌町の大規模農業を体験、音更町のよつ葉工場を見学するなど、有意義な時間を過ごしてもらいました。また、訪問事業では、士幌小学校・中士幌小学校の6年生児童40名が、8月3日～5日の3日間の日程で、美濃市、名古屋市を訪問し、美濃市では、紙す

き体験や、うだつの上がる町並みのフィールドワークを行い、名古屋市ではトヨタ産業技術記念館を見学するなど、貴重な体験をすることができました。「受入」、「訪問」とともに、児童同士の交流の時間を設けることができ、有意義な交流事業となりました。

また、上居辺小学校が実施している千葉県鎌ヶ谷市児童生徒との交流事業につきましても、8月5日～7日の3日間の日程で、16名の児童生徒が本町を訪れました。酪農体験、芋掘り体験などで上居辺小学校児童との交流を深め、北海道十勝の夏を満喫してもらいました。

■中学校行事について

次に、中学校について報告いたします。体育祭が5月30日に実施され、途中、雨による中断もありましたが、生徒の迫力のある競技に、観覧の保護者からは大きな声援が送られていました。

6月上旬に中体連春季大会、6月中旬から7月中旬にかけては、夏季大会が開催されました。野球・サッカー・バレーボール・バドミントン・卓球・バスケットボール・陸上競技など、各競技ともに、選手たちが夏の暑さの中を精力的に動き回る姿が見られるなど、熱戦が繰り広げられ、7月27日から29日に旭川市で開催された全道陸上競技大会に、2年生の松山 まつやま 雄世 ゆうせいさんが1500m、3000mに出場されました。

また、文化部では、吹奏楽部が、8月1日に行われた帯広地区吹奏楽コンクールに参加しました。3年生の部活動の集大成の場として、これまで培ってきた技術や団結力などが随所に見られたところです。

なお、7月25日から8月24日までの夏季休業期間については、特に3年生は部活を引退し、高校受験に向けて本格的な準備を始める時期として、充実した期間となりました。

■夏季休業中の学習サポートについて

次に、小・中学校の夏季休業期間中には、士幌小屋チセ・フレップの活動で本町と関わりを持つ北海道大学恵迪寮の学生が学習支援をする「夏休み学習サポート塾」を企画し実施いたしました。

学習に加えて運動も取り入れた内容で実施し、町内小・中学生延べ59名が充実した2日間を過ごしております。

この他、今年も夏季休業の期間を活用した学習サポートが町内全ての小・中学校で行われ、基礎基本の定着、苦手な学習の克服、自主的な学習態度の育成等が図られたところでございます。

なお、一昨年度から学習サポートの新たな試みとして、小・小連携を目的に会場を持ち回ることとし、今回は中士幌小学校を会場に7月27日・28日の2日間でチャレンジ学習を実施し、士幌小・中士幌小の小学生延べ34名が参加し、CSコーディネーターを中心に地域のボランティアの協力もいただきながら実施されたところであり、小・小連携の推進が図れております。

■高等学校について

次に、北海道士幌高等学校について、報告いたします。

ぐろーばるぎやつぷ
GLOBALG.A.P.（農産物の生産工程管理の国際基準）ですが、ニンニク、ニンジン、大豆、ジャガイモ、サツマイモの5品目について、6月に模擬審査と内部監査を終え、10月下旬に認証審査を受けるため圃場管理に取り組んでいるところです。当日は農業生産工程管理推進事業におけるGAP認証取得拡大支援事業により公開審査を行う予定です。

農業先進技術活用実践学習では、近隣農家と提携し、リモートセンシング技術を活用した可変施肥を試験圃場にて行っており、9月8日の日本土壌肥料学会福島大会「高校生ポスター」発表会において成果を発表する予定です。畑作部門ではドローンを活用した作物生育調査やトラクターGPSを活用した操縦実習を行うとともに、

畜産部門では牛温恵（母牛の体温監視通報システム）による、I o T（物のインターネット）を活用した省力管理を実践しています。

農業クラブ活動では、6月26日に更別村で開催された東北海道意見発表大会で最優秀賞を受賞した3年生の西 風李さんと、昨年に続き優秀賞を受賞した同じく3年生の菅原 昂さんが、8月27日から釧路町で開催された全道意見発表大会に出場しました。

また、8月7日から旭川市で開催された全道技術競技大会には生徒16名が参加し、農業鑑定競技の作物で優秀賞2名、畜産で優秀賞1名、食品で優秀賞2名、更に家畜審査競技では団体の部で最優秀賞、個人の部で優秀賞1名、平板測量競技では最優秀賞を受賞しました。この大会を経て、3年生の山岸 美月さんと、2年生の大沢 杏莉さんが農業鑑定競技、3年生の田中 蓮音さん、光澤 蒼惺さん、2年生の中野 晴太郎さんが平板測量競技のチームで10月から高知県と徳島県で合同開催される全国大会へ出場します。

更に、8月20日から真狩村で開催された全道実績発表大会には3部門12名が出場し、1部門で優秀賞を受賞しました。

クラブ活動では、7月30日から長野県で開催されたコベルコカップ2026第22回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会で北海道代表の23名のうち十勝から3名が選ばれ、3年生の奥 祐太郎さんが出場し、健闘しました。

また、8月18日に帯広で開催された第79回北海道高等学校ラグビーフットボール南北選手権十勝支部大会兼第106回全国高等学校ラグビーフットボール大会北海道予選会十勝支部大会では帯広工業高校に帯広柏葉、帯広三条、帯広緑葉、士幌高校の合同チームが勝利し、9月10日から江別市で開催される全道大会への出場を決めました。

海外文化交流事業では、9月16日から10日間、生徒4名と引率2名がアメリカ合衆国コロラド州にあるスモーキーヒル高校を訪問する予定で、語学力の向上に努めているところです。

2年生は、6月24日から26日まで、インターンシップを行い、

町内及び近隣の生産者や農業関連企業などで実習を行いました。

来年度の生徒募集につきましては、中学生及び保護者を対象とした説明会を7月2日に帯広市で行い20名、15日に士幌町総合研修センターで行い、15名が参加したところです。

また、3回目となる説明会を10月14日に帯広市で予定しています。更に、6月15日から7月8日まで管内中学校38校を私と校長で訪問し、本校の特色や進路の状況などを説明して参りました。

7月15日には士幌町中高連携事業で士幌町中央中学校3年生を対象にした農業科目の授業体験を行いました。

今後の予定としましては、9月11日にオープンスクール（一日体験入学）を実施し、授業や部活動の見学など本校の魅力を分かりやすく楽しく伝えるほか、10月には教頭と生徒募集担当教諭が再度管内中学校を訪問し、進路決定に向け特色ある本校の取り組みを紹介してまいります。

更に、生徒自身が制作した学校紹介のPR動画をSNSで発信し、農業高校の魅力を伝え、一人でも多くの生徒に入学してもらえようPRを継続してまいります。

■社会教育について

次に、社会教育関係について報告申し上げます。

各種学級活動は、柏樹学級が管内研修を実施したほか、役場前花壇の整備や士幌高校生との交流事業を行うなど活動に取り組んでいます。

また、花みこしづくりにも参加するなど多くの活動に積極的に取り組んでいます。

女性ライフスクールにおいては、管内研修・ボランティア活動を行うなど、多彩な事業は続けられているほか、中士幌地区においても、自らの学習ニーズに応じた研修事業を計画するなど、自主的な活動が進められています。

サタデースクール事業につきましては、社会福祉法人温真会に委託し、多くの小学生が参加して野外体験学習や自然観察、工作・科学教室、文化事業などを展開しています。

図書館では、七夕短冊飾りを開催、小学生以下を対象になつやすみ図書館スタンプラリーを実施するなど、より多くの町民に来館してもらうための行事を行いました。

■スポーツについて

次に、体育関係では、7月に町民体育祭として、ソフトボール大会及びパークゴルフ大会を開催し、多くの町民が参加し、それぞれ熱戦が繰り広げられました。

町民プールは6月20日にオープンして以降、連日多くの利用者が賑わっており、幼児・小学生水泳教室は4日間で延べ120名が参加しました。なお、今シーズンの利用期間は9月10日までを予定しています。

さらに、少年団活動では土幌野球少年団土幌ファイターズが全道少年軟式野球大会十勝支部予選大会で好成績を納め3年ぶりに全道大会に出場しました。また、土幌陸上クラブに所属する児童4名が南部忠平記念陸上競技大会に、中央中の生徒並びに土幌小児童各1名が、北海道ジュニア室内選手権水泳大会に出場するなど、子供たちの頑張りはすばらしいものがあります。

その他、各種体育団体や土幌町スポーツ合宿等推進協議会主催による大会が盛んに繰り広げられています。

以上申し上げ、教育行政報告といたします。